学校番号	２０５

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史」　（山川出版）						
副教材等	「詳録新日本史史料集成」（第一学習社）・「最新日本史図表」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象の原因と結果のつながりを意識する視点を持つ。
・歴史総合の学習によって身に着けた資質・能力を基に、日本の歴史の展開にかかわる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。
・事象の意味や伝統と文化の特色を考察し、よりよい社会の実現に向けて、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する。

2　学習の到達目標

知識及び技能…諸資料に親しみ、歴史的思考力を育成する。
思考力・判断力・表現力…我が国の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察する。
学びに向かう力、人間性等…日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、現在の日本の有りようを意識し主体的に行動する市民としての自覚と資質を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史についての基本的な事柄を，国際環境と現代社会に関連付けて総合的に理解し，その知識を身に付けている。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め，その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	日本文化のあ	文化の始まり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	a：ヤマト政権と各地勢力の関係を考察し、朝鮮半島の情勢との関連、文字や仏教など大陸文化の受容を踏まえ、ヤマト政権の成立について理解し、知識を身に付けている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

	けぼの		b：水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化に与えた影響を考察し、適切に表現している。 c：日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。			
	律令国家の形成	飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 律令国家の文化 律令国家の変容	a：蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について理解し、その知識を身につけている。平安仏教などに着目し、唐文化を受容し、密教芸術が生まれた弘仁・貞観文化の意義を理解し、その知識を身に付けている。 b：大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなども踏まえて考察し、適切に表現している。 c：平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出
2学期	貴族政治の展開	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	a：国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を理解し、武士の反乱や成長などから中世社会の始まりを理解し、その知識を身に付けている。 b：国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化について考察し、適切	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

			に表現している。 c：国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。摂関家の権力掌握に伴う律令体制の変容の観点から摂関政治などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。			
3学期	院政と武士の躍進	院政の始まり 院政と平氏政権 鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	a: 武士が土地の所領関係で結びついていることを理解し、その知識を身に付けている。荘園などを武士が実力で奪いとり、対等していく過程を理解し、その知識を身に付けている。東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりを与えていることを理解し、その知識を身に付けている。武家社会の成立と新しい文化の出現との関係を理解し、鎌倉文化についての知識を身に付けている。 b: 武士の出現や武家政権の成立について、文化や特色と関連付けながら考察し、適切に表現している。 c: 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度